

# 学級活動指導案

3年1組32名 指導者 新名主 洋一

今回の実践では、以下の検証を行うものである。

- キーワードをマトリクス化した板書や子どもの意識を可視化した板書は、子どもの思考を整理し、折り合いながら話し合いを進める上で、効果的であったか。

## 1 議題名

みんなが「またやりたい。」と思うことができるような「みんなで遊ぶ日」の計画を立てよう。

(学級活動(1)一ア)

## 2 子どもの実態

### (1) 子どもの学級生活における実態

- 進級する際にクラス替えがあり、互いのことがよく分からない間はうまくコミュニケーションがとれない様子も見られた。しかし、様々な活動を通して相手のことが理解できるようになり、それと同時に、互いを思いやる言動が多く見られるようになってきた。
- 自分の意見を通すのではなく、相手や学級全体のことを考え、我慢できる子どもが増えてきた。一方で、中学年になって間もないということもあり、自分の意見をあくまで押し通そうとする子どももいる。また、自分の考えを明確にもつことができていない間は、発言を控える子どもが多い。
- まだ、学級全員で活動し始めて間もないため、学級全員の良さに気付くことはできていない。しかし、新しい友達と一緒に、協力して活動して頑張っていこうという意欲は高い。
- 問題が起こった際には、暴力ではなく言葉で解決することができる。一方で、相手の立場や気持ちを考えず発言することがあり、その言葉が友人間のトラブルの原因となることもある。

### (2) これまでの学級活動の取組

#### これまでに取り組んできた議題

- ・ みんなの願いがこもった、「学級目標」を決めよう。
- ・ 学級がよりよく、楽しくなるような「係活動」を決めよう。
- ・ 進んで話し合いができるような「学級会の名前」を決めよう。

まだ、新学年が始まったばかりで、話し合い活動自体、そう多くはない。議題については、教室に設置している議題箱に入れられた議題案や必要に応じて設定する議題案の中から、司会者グループの子どもを中心に、学級で話し合う必要があるかどうかを吟味し、議題として設定している。

その司会者グループは、それを全員に経験させたいという指導者の思いから、輪番制で構成している。司会者グループは、議題や提案理由をもとに、指導者の助言を受けながら話し合いの柱を立てている。そして、話し合い活動を円滑に進めるため、事前に議題、提案理由、話し合いの柱を朝の会や帰りの会等で伝え、各自、考えを学級活動ノートにまとめてくるよう呼びかけている。その後、司会者グループはそのノートを回収し、指導者と一緒に各自の考えを集約、分類して話し合いの論点を明らかにし、意図的・計画的な話し合い活動の準備ができるようになってきている。

実践段階では、一度取り組み始めると、自分の役割を果たし、友達と協力しながら活動できる子どもが多い。しかし、決まったことを持続して取り組むことができない子どもや安易に他の意見に賛同し、行動する子どもがいる。そのため、今後は決定したことを持続して取り組んだり、友達の意見を吟味して判断したりすることが子どもの課題となっている。

### (3) 話し合い活動における課題やめざす方向

本学級の子どもは、2年生でも話し合い活動を積極的に行ってきたこともあり、「自分たちでできるんだ。」「みんなと協力すると楽しいな。」といった話し合い活動のよさを理解している。また、進級の際にクラス替えがあったこともあり、「新しい友達と一緒に頑張っていきたい。」「楽しい学級にしたい。」という思いも強く、これまでの話し合いでも、そのような視点に立った意見が数多く出されている。

しかし、中には自分で明確に考えをもつことができていないと発言できない子どもがいる。また、互いの意見を聞いても、その共通点や相違点を考えながら話し合うことができないため、他の子どもの意見に深く考えることなしに賛同してしまう子どももいる。

そこで、話し合う前には、学級活動ノートを活用し、各自の考えを明確にさせておく必要がある。ま

た、話し合いにおいては、今、何について話し合われているのか確認しながら、互いの考えをできるだけ可視化し、板書を構成していく必要もある。

### 3 議題について

本学級は、進級に当たり、クラス替えが行われた。3つの学級から数名ずつが同じ学級となったため、始めはお互いの良さが分からず、うまく関わることができない様子であった。そのため、休み時間は、以前同じ学級だった友達とのみ遊ぶ姿が多く見られた。また、給食の時間も、同じグループになった友達とうまく会話できず、黙々と食べる姿が見られた。しかし、学級目標を決める際、子どもの願いを聞くと、「新しい友達を増やしたい。」「新しい友達と楽しく過ごしたい。」「みんなで頑張っていきたい。」という声が多く聞かれた。また、学級で必要な係を決める際にも、「みんなで仲良く遊びたい。」という理由から、「あそび係があった方がよい。」という意見が多く聞かれ、「あそび係」が係活動に加えられた。その後、「あそび係」が中心となり、週に1回、「みんなで遊ぶ日」を設定し、ドッジボールやけいどろなどの遊びを行ってきた。

「みんなで遊ぶ日」を設定した当初は、「新しい友達と一緒に。」という思いが強く、学級全員が積極的に参加していた。しかし、次第に慣れてくると、開始時刻に平気で遅れてきたり、「一部の子だけが楽しんでいて、おもしろくないから。」という理由で、参加しない子どもが出てきたりするようになった。これでは、学級目標の意味にふくまれている、「みんなで一緒にがんばる」「一番（みんなに）優しい」ということにもつながらない。そこで、「もっとみんなで遊ぶ日をたのしくしたい。」という議題が出された。そして、計画委員会で本議題が取り上げられ、学級全員の賛同を得ることになった。

### 4 指導に当たって

指導に当たっては、まず、話し合いを行う前の「みんなで遊ぶ日」の実態の把握を行う。どの子どもが積極的に参加をされていて、積極的に参加をしていない子どもは誰なのか、また、参加はしているけれども、楽しんでいない子どもはいないかといった点から、子どもの様子を観察する。また、アンケートを実施し、「みんなで遊ぶ日」に対する子どもの意識を事前に掴んでおく。また、議題に対する各自の考えを学級活動ノートに書かせておくことで、話し合い活動で積極的に発言できるようにしておく。

次に、話し合いにおいて、柱1ではキーワードをマトリクス化した板書を構成し、子どもの思考を整理しながら、最も適した遊びは何かを全員が捉えられるようにする。柱2では、子どもの意識を船の図で可視化することで、学級全員が、「みんなで遊ぶ日」に対する考えを把握できるようにする。こうすることで、各自の考えが明確になり、話し合い（折り合い）の必要性がさらに高まってくるのではないかと考える。

最後に、事後の活動においては、話し合いで決まった内容で「みんなで遊ぶ日」を何度か実践した後、日記を使って実践の様子を振り返らせる。ここで、さらに問題が出てきた際には、再度、話し合わせたい。また、話し合い前の行動において、子どもの行動に変容が見られた際には称賛し、話し合いの良さが実感できるようにする。

このような指導を行うことで、今後、学級で問題が起きた際に、自分たちで解決できるんだという自主性を身に付けさせることができるのではないかと考える。また、本学級には、交流学級として、あさひ子学級（特別支援学級）の子どももいる。そのような子どものことも考えながら、話し合いを行わせることで、より広い視野でものごとを考える力も身に付くのではないかと考える。

### 5 第3学年及び第4学年の評価規準

|             | 集団活動や生活への関心・意欲・態度                                         | 集団の一員としての思考・判断・実践                                                 | 集団活動や生活についての知識・理解                    |
|-------------|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 計<br>画      | 学級の生活上の問題に関心をもったり、計画委員会の活動や話し合い活動の準備などに意欲的に取り組もうとしたりしている。 | 議題について自分の考えをもち、計画委員会の運営や話し合いの活動計画について教師の助言を受けながら考え、準備している。        | 計画委員会の役割や話し合い活動の準備など、計画的な進め方を理解している。 |
| 話<br>合<br>い | 共感的な態度で、意欲的に話し合おうとしている。                                   | よりよい学級の生活づくりに向けて、教師の助言を受けながら、これまでの経験を生かして考え、判断し、他者の立場に立って話し合っている。 |                                      |

|    |                                  |                               |                                             |
|----|----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------------|
| 実践 | 決定したことについて、意欲的に準備や計画に取り組もうとしている。 | 決定したことや自他の役割を考え、協力し合って実践している。 | 決定したことについて、みんなで計画的に実践することの必要性や方法について理解している。 |
|----|----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------------|

## 6 活動の流れ

|       |           | 期日    | 活動内容                                                                                                                                                  | 指導上の留意点                                                                                                                                                       | めざす子どもの姿と評価方法〈 〉                                                                                                                                                                                                  |
|-------|-----------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事前の活動 | 問題発見・選定   | 4月～5月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなで遊ぶ日」の実施（昼休み）</li> <li>○ 第1回計画委員会・議題選定・選定結果のお知らせ</li> </ul>                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなで遊ぶ日」の様子を観察し、個々の参加の様子を把握しておく。</li> <li>○ 提案者の願いをもとに、議題選定の四つの規準に照らし合わせて議題を選択させる。</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>関 学級内の諸問題に気付き、進んで議題箱に議題を出している。〈観察〉</li> <li>思 「議題選定の4つの規準」に照らし合わせて、議題を選定している。〈観察〉</li> </ul>                                                                               |
|       | 実施計画の作成   |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2回計画委員会・提案理由の確認と話し合いの柱の設定</li> <li>○ 学級全員に今後の活動の流れを伝える。</li> </ul>                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合い活動を行う上で、何を話し合わなければいけないのかを明確にさせ、助言しながら話し合いの柱を立てさせる。</li> <li>○ 事前に各自に考えをもたせるため、提案理由と話し合いの柱を学級全体に伝えさせる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>思 司会者グループが中心となって、議題名や提案理由、話し合いの柱を考え、朝の会などで全員に予告している。〈観察〉</li> <li>知 話し合い当日までに、行うべきことをすべて洗い出している。〈観察〉</li> </ul>                                                            |
|       | 取組の共同化    |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 議題についての自分の考えをまとめる。</li> <li>○ 学級活動ノートの回収</li> <li>○ 第3回計画委員会・全員の意見の把握、分類</li> <li>○ 話し合いのシミュレーション</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各自が明確に自分の意見をもてるよう、事前に考えをまとめさせておく。</li> <li>○ 各自の考えを把握させるためにノートを回収し、その考えを集約・分類してキーワードを決定し、本時の話し合いに生かす。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>思 提案理由を踏まえて、自分の意見を理由を交えながら書いている。〈学級活動ノート〉</li> <li>知 自分の意見をもつ際に、これまでの経験を生かすよさを理解している。〈観察〉</li> <li>思 友達の意見を事前に集約、分類し、教師と一緒に話し合いの論点を明らかにして、話し合いの準備を進めている。〈活動の様子〉</li> </ul> |
|       | (本時) 話し合い |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動の目標や目標達成の方法・手段・役割分担を話し合ったり、確認したりする。</li> </ul>                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合いを自主的に行わせる手立て</li> <li>・話し合いの技能活用</li> <li>・話し合いの形態</li> <li>・発言の視点と教師のアドバイス</li> </ul>                           | ※ 本時を参照                                                                                                                                                                                                           |
|       | 事後の活動     | 実践    |                                                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合いの結果を生かした「みんなで遊ぶ日」の実施</li> </ul>                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実践した際、新たな問題が生まれることもある。その際には、再度話し合いの場を設ける。</li> </ul>                                                                                                                     |

|  |    |                                     |                                                                                                                                 |                                                                                                                  |
|--|----|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 評価 | <p>○ 話し合いの結果を生かした「みんなで遊ぶ日」の振り返り</p> | <p>○ 議題の選定から実践までを振り返り、「個人として」「学級として」の2つの視点から、成果と問題点について日記に記述させる。(家庭学習)</p> <p>○ 計画委員会に全員の反省を読ませ、活動の成果や問題点、改善策をまとめ、全員に伝えさせる。</p> | <p>関活動を振り返り、反省したことや学んだことを今後の学級での生活に生かそうとしている。 〈日記〉</p> <p>知 友達の役割や努力が分かり、みんなで協力したら、目標がよりよく達成されたと感じている。 〈質問紙〉</p> |
|--|----|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 6 本時の活動

### (1) 目標

「みんなで遊ぶ日」を学級全員が楽しめるようにするために、折り合いを付けながら意見を交流し、よりよい学級にしていこうという意欲を高めることができるようにする。

### (2) 評価規準

- よりよい学級の生活づくりに向けて、教師の助言を受けながら、これまでの経験を生かして考え、判断し、他者の立場に立って話し合っている。 【集団の一員としての思考・判断・実践】
- 共感的な態度で、意欲的に話し合おうとしている。 【集団活動や生活への関心・意欲・態度】

### (3) 指導に当たって

事前に、一人一人が意見をもった上で意欲的に話し合いに臨むことができるようにするために、学級活動ノートに各自の意見を書かせておく。そして、話し合い前の先生の話では、全員により明確に今回の話し合いの論点を掴ませるため、事前アンケートをもとにキーワードを設定し、これを常に意識しながら話し合いができるように黒板にも掲示しておく。

話し合いでは、まず、柱1として、みんなで遊ぶ日の遊び(種目)を決める。ここで、キーワードである「みんなで楽しめるか。」「けんかが起きないか。」を2つの軸とした表を提示する。そして、そのキーワードに照らし合わせ、各遊びがどこに位置付けられるのか、話し合わせる。こうすることで、キーワードに最も適した遊びが選択しやすくなると考える。次に、選択された遊びについて、より学級全員が楽しめるようにするために、そのルールを考えさせる。ここで、選択された遊びに対する各自の立場がどの位置にあるのかを可視化するため、船の絵を提示し、名札をはらせる。そして、その遊びに心配な点をもっている子どもに、どんな点が心配なのかを発表させる。こうすることで、折り合いを付けなければならない点はどのようなことで、誰が納得できるように話し合いを進めて行かなければならないかが明確になるのではないかと考える。この話し合いの後、船の上に置かれた名札を移動させることで、各自の意識の変化も捉えさせ、話し合うことの良さを感じられるようにしたい。また、本学級は交流学級として、2名の特別支援学級の子どもがいるが、その子どものことはあまり意識できていないのではないかと考える。この2名のことも考えさせることで、より広い視野から物事を考えさせ、「2人も1組の仲間である。」という意識をもたせることで、1組の人間関係はよりよいものになっていくのではないかと考える。最後に、振り返り際には、本時の話し合いにおいて意欲的に意見を述べていた子どもや、折衷案、友達の意見をさらに良い意見へと高めた意見など、価値ある意見を述べた子どもを特に取り上げて称賛し、よい人間関係を築こうとする自発的、自治的な態度に対する意欲を高めたり、実践への意欲付けを図ったりするようにしたい。

(4) 本時の展開

|                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第4回 3年1組学級会 5月18日(金) 司会( ) 副司会( ) 書記( , )                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 議題                                                                                         | みんなが「またやりたい。」と思うことができるような「みんなで遊ぶ日」の計画を立てよう。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 提案理由                                                                                       | 3年生になって新しい学級になり、これまで何度か「みんなで遊ぶ日」を行ってきました。でも、せっかく「みんなで遊ぶ日」を計画しても、学級全員が楽しめていないことがありました。そこで、もっとみんなが楽しめるような「みんなで遊ぶ日」にしたいと考え、この議題を提案しました。                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 話合いのめあて                                                                                    | ○ みんなが「またやりたい。」と思うような遊ぶ日になるように、しっかり話し合おう。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 話合いの流れ                                                                                     | 予想される子どもの意識                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ○手立て □めざす子どもの姿                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 1 はじめの言葉<br>2 歌<br>「<br>」<br>3 司会者グループの紹介<br>4 議題の確かめと提案理由の説明<br>5 話合いのめあてと柱の確かめ<br>6 先生の話 | <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなでよい話合いができるといういな。</li> <li>意見をしっかりと言おう。</li> <li>友達の意見と自分の意見を比べながら考えてみよう。</li> <li>提案理由がみんなに伝わるように分かりやすく話そう。</li> <li>みんなが楽しめるような「みんなで遊ぶ日」にするためには、どうしたらよいのだろう。</li> </ul>                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人一人が自分の考えをもって話合いに参加できるように、議題に対する考えを事前に書かせておく。</li> <li>○ 歌を歌うことで、よりよい話合いになるという期待感をもたせる。</li> <li>○ 話合いの論点を明確にするため、事前アンケートから得られた結果をキーワードとして提示する。</li> <li>○ 事前に掴んでおいた子どもの姿を示し、話合いの必要性をより高める。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                 |
| 7 話合い<br>(1) みんなで行うあそびについて<br><br>(2) ルールについて                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>ドッジボールは、得意な人と得意でない人がいるから、みんなは楽しめないかもね。</li> <li>けいどろは、みんなが楽しめるけれど、言い合いになることが多いね。</li> <li>ころがしドッジボールは、みんな楽しめるし、けんかも少ないね。</li> <li>2つの遊びを交代でしたらどうだろう。</li> <li>もう少し工夫してもらえると、私も楽しめるんだけど。</li> <li>だれが、どんな理由で楽しめないのだろう。</li> <li>苦手な人たちも楽しめるには、どんなルールにすればよいだろう。</li> <li>こんな工夫をすると、みんなが楽しめそうだね。</li> <li>あさひ子学級の2人も一緒に遊びたいね。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「みんなが楽しめるか。」「けんかがおきないか。」という2つの軸で板書を構成し、提案理由に最もふさわしい遊びは何かを理解しやすいようにする。</li> <li>○ 議題や提案理由をもとに意見が言えているか、助言を交え、発言させる。</li> <li>○ 司会者が進行に苦労している際には、助言する。</li> <li>○ 自分の考えを事前にまとめたものを配布しておき、話に意欲的に参加できるようにする。</li> <li>○ 現在の自分の立場を、船の絵の上に提示させる。そして、解決すべき問題を明らかにすることで、論点を明確にし、話合いが円滑に進むようにする。</li> <li>関友達の意見をよく聞き、自分と同じ考えに、あいづちをうっている。</li> <li>思自分の立場を明確にして意見を述べ、出てきた意見が提案理由に沿っているか吟味しながら話し合っている。</li> </ul> |
| 8 決まったことの確かめ<br>9 振り返り<br>10 先生の話<br>11 おわりの言葉                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>めあてが達成できたよ。</li> <li>友達の意見が参考になった。</li> <li>友達の意見に合わせた反応をしながら聞くことができたよ。</li> <li>次の話合いでは、今日の話合いで出た課題については、次の話合いで気を付けないといけないな。</li> <li>次は、もっとがんばろう。</li> </ul>                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>思司会者グループのよさを見付けたり、折衷案や友達の意見を高めるような意見など、価値ある意見を見付けたりしている。</li> <li>○ 話合いを通しての成果と課題を子どもたちに分かるようにポイント絞って話すようにする。</li> <li>○ 自分たちで考えた取組を自治的に活動していけるように意欲付けを行う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                     |